

令和8年「1月号」競書成績表

○は昇級、写は写真版（写：半紙、㊦：条幅）
☆は最優秀賞

【臨書】

「特待生」

㊦ 落川富美子
☆㊦ 中川 秀子
写 銭谷心さ子
☆写 山田 華生
響庭 啓良
伊藤 錦泉
奥田 喜代
北川 幾美
杉橋多恵子
鈴木 天雷
角田 朋子
高木 尚月
辻 洋虹
中田 光風
中村 淳風
中村 瑤皓
野村 和峯
福谷 奎玉
松本 雪華

「天」

㊦写 橋本心く江
㊦ 久保 貞雄
☆㊦ 古市 真隆
写 浅田 幸子
写 澤田 友子
☆写 長宗 康華
写 西山 玲風
写 平井 汀華
青谷 光恵
荒堀 順子
臼井 寿子
太田 芦翠
岡田伊都子
笠井 純子
川島 花音
北川扶美子
桑原 佳子
小宮 千風
齊内加奈子
齊藤 翠真
鈴木 香心
高澤 芳枝
高島 佐知
田中 久華
谷本 郁子
玉野 文子
寺田 春之
苗代 真紀
中川 恭子

仁賀 英子
西尾 恵子
西川 芦雪
古谷 充江
松井 萌翠
松井 桜華
松宮 公子
松宮 孝明
宮本由美子
山川 清子

「地」

井上 良信
卯田 和美
梅田 花秀
太田垣絹代
大塚 夕照
小川 敬子
桂田 秋邨
川口 栄子
呉屋由紀子
酒井 知里
澤田 幸子
清水 煌風
清水 郷子
清水 梨紗
谷田 良子
寺岡 和代
戸田 栄里
中西 明美
中村 万華
増本 令子
三矢千代美
宮川 靖子
山中 静子
山本 登代
李 奈
渡邊 紀子

【短歌の部】

写 響庭 啓良
写 太田 芦翠
写 北川 幾美
写 北川扶美子
写 桑原 佳子
写 澤田 友子
写 清水 煌風
写 杉橋多恵子
写 鈴木 香心
写 角田 朋子
写 辻 洋虹
写 中川 秀子
写 中司 露風
☆写 西山 玲風
写 野村 和峯
写 松井 萌翠
写 松井 桜華
写 三矢千代美
写 山本 登代
写 青谷 光恵
写 浅田 幸子
写 荒堀 順子
写 伊藤 錦泉
写 井上 良信
写 臼井 寿子
写 卯田 和美
写 梅田 花秀
写 岡田伊都子
写 小川 敬子
写 奥田 喜代
写 落川富美子
写 桂田 秋邨
写 川島 花音
写 岸本 響心
写 久保 貞雄
写 呉屋由紀子
写 小宮 千風
写 酒井 知里
写 澤田 幸子
写 清水 郷子
写 清水 梨紗
写 白井 正通
写 銭谷心さ子
写 高木 尚月
写 高澤 芳枝
写 高島 佐知
写 田中 久華
写 田中 裕子
写 谷田 良子
写 谷本 郁子
写 玉野 文子

苗代 真紀
中川 恭子
中田 光風
中西 明美
長宗 康華
中村 万華
中村 瑤皓
仁賀 英子
西尾 恵子
西川 芦雪
橋本心く江
平井 汀華
古市 真隆
古谷 充江
松宮 孝明
松宮 雪華
松本 靖子
宮川 清子
山川 静子
山中 渡邊 紀子

【選 評】

<臨書>

総 評

1文字目が大きい作品が多かったです。1文字目は少し押さえて書くとい
いでしょう。
※法帖名が書いて無い作品が多く見
られますので、必ず記入願います。

最優秀作品

古市 真隆

墨がよく入り、どっしとした作品。

長宗 康華

紙にくい込むような墨の入れ方で、骨
太な線になっている。

<臨書・特待生>

中川 秀子

墨もよく入り、文字の大小のバランス
もよく、引き締まった作品

山田 華生

全体のバランスやカスレ、運筆が素晴
らしい。

<短歌・短文>

総 評

全体的に細かい字が多く見られました。
もう少し太く書きましょう。また、行
が偏っている作品も散見されました。

最優秀作品

野村 和峯

バランス、流れも良く、文字の大小も
あり素晴らしい作品

<審査員>

西川桂邨 辻洋虹 井戸菊江 澤井双竹 西山玲風 鈴木天雷

<お知らせ>

・2月は「調和体・実用の書」の提出月です。(2月27日〆切)